

USB アキュライザーUACU-700 の導入(14) —CD リッピング—

1. はじめに

前報(12)では、fidata HFAS1-S10 と Sonica DAC のシステムで、CD ドライブ側にも UACU-700 を装着して、CD の再生を行う効果を見ました。また、A 氏邸訪問記 (2018.10.24)では、PC による外付け CD ドライブからの CD のリッピングにおける CD ドライブ側にも UACU-700 を装着する効果を確認しました。今回は、CD のリッピングにおける CD ドライブ側にも UACU-700 を装着する効果を PC ではないシステムで検証します。

2. UACU-700 の試聴方法

fidata HFAS1-S10 と Sonica DAC を USB ケーブルで接続し、Sonica DAC の B 端子に 1 個目の UACU-700 を装着します。

HFAS1-S10 は[前々回のファームウェアのバージョンアップ](#)で、USB 経由で接続した CD ドライブ中の CD とトラックを認識し、USB ハブ経由で接続してリッピングし、WAV ファイルとして HFAS1-S10 の NAS のフォルダーに自動的に収納します。UACU-700 なしでリッピングし、さらに 2 個目の UACU-700 を CD ドライブの USB 入力端子に装着して、再度リッピングします。この時上書きされないようファイル名を書き換える必要があります。

これとは別に PC の WMP により PC の内蔵 HDD に同様のリッピングを行い、この WAV ファイルを PC から HFAS1-S10 の同じフォルダーにコピーします。



3. UACU-700 の試聴結果

以上の手順によりリッピングした WAV ファイルを HFAS1-S10 のフォルダーから読み出して Sonica DAC により再生します。

1) HFAS1-S10 により CD ドライブから UACU-700 なしでリッピングした WAV ファイルの再生

2) HFAS1-S10 により CD ドライブから UACU-700 ありでリッピングした WAV ファイルの再生

3) PC の WMP により CD ドライブから UACU-700 ありでリッピングした WAV ファイルの再生

これらの比較として次の再生も行います。

4) HFAS1-S10 により CD ドライブから UACU-700 ありでのストリーミング再生

1)と2)の比較はリッピングにおける UACU-700 ありなしの違いを比較できます。

2)と3)の比較はリッピングのルートと方法の違いを比較できます。

2)と4)はリッピングとストリーミング再生を比較できます。

結論としては、1)と2)の比較ははっきりした差が認められ、A 氏邸での PC によるリッピング実験と同様でした。

2)と3)と4)について言えば、大きな差はありませんが、2)が頭一つ抜け出している感じです。2)はリッピングの際に直接 SSD の NAS に収納し、3)は PC による HDD へのリッピングからのコピーで間接的な方法であり、4)は回転体からの直接の読み出しであることの違いを反映しているものと思われます。

4. まとめ

HFAS1-S10 による CD ドライブからのリッピングにおいて UACU-700 を介在させる効果を認めました。

以上